

# 笑顔満天

第 14 号

R2. 6. 1

【発行】

〒651-1621 神戸市北区淡河町神影115

児童養護施設 天王谷学園

TEL:078-958-0302 FAX:078-958-0346 URL:tennoudani.com

## 法人理念

○恵まれた自然環境の中で「子どもの最善の利益」を守る。

○一人一人の個性を大切に健全な心身の発達を図る。

去年と一昨年は「ほっと一息」を最初に書きました。今年は「いつまで続くんでしょう」の繰り返しで「STAY HOMEあり方検討委員会」を毎日やってきた感があります。どこにいるかわからないウイルスに感染しないよう、相互の感染予防の意識を上げる以外にないかと思えます。踏ん張りましょう。

さて、学園ではいつもと違う雰囲気の新年度が始まりました。小学校に一人・中学校に五人・高校に四人・大学に四人(うち三人は卒園し下宿)進学し新たな気持ちでスタートを切りましたが学校に行けず戸惑っています。そして、今年度は職員が児童養護に三名入職しました。新しい風を吹き込んでくれると期待しています。STAY HOMEの状態子どもたちや職員のストレスも大変だと思いますが、いろいろ工夫をして子どもたちが遊べるよう「何が出来るか、どうしたら子供たちの希望を実現できるか」を一生懸命みんなで考えてくれています。職員と子どもたちとの関りを深めるために普段できないことも今ならできると色々な柔らかいアイデアを出して楽しんでいます。

また、保育園は定員一杯の19人の園児たちで新年度を迎えることになりました。今年度は新入園児が六名で職員も二人入れ替わりしました。コロナ騒ぎでお預かりしているお子様は少ないですが地域に根ざした保育園として自主事業も継続しています。職員も園児たちの勢い、コロナに負けないよう笑顔満点で頑張っています。

そしてこの騒ぎの中、子どもたちに温かいお気持ちがたくさん届きました。たくさんの手造りの可愛いマスクを、そして中々手に入らないマスクを、またみんな外に出られず大変でしょうとお菓子を・・・皆さんのお心遣いは子どもたちにもしっかり届いていました。この仕事をしている中でも本当に感謝の気持ちで一杯です。本当に有難うございました。

これからも、社会的養育に関心を持っていただき支援される法人になれるよう職員一丸になって頑張りますのでご支援のほど宜しくお願いいたします。

今回の「笑顔満天」もたくさんの良い笑顔を載せて「ほっと一息」つける内容だと思えます。子ども達・職員の元気な様子をお楽しみください。

社会福祉法人天王谷学園 理事長 波来谷 徹生

## 《新職員紹介》

子どもたちに寄り添い、  
笑顔を大切に取り組みたい  
と思います。そして、  
子どもと共に成長できる  
ように頑張ります。これ  
からよろしく願います！  
中男担当 R・K



体を動かすことが大好きなので子どもたちと一緒に  
たくさん汗をかき、多くの楽しさを共有してい  
きたいです！まだまだできないことばかりですが、  
明るさを武器に頑張ります！ 中男担当 S・H

どんな時でも、子どもたちに寄り添い、子どもたち  
と一緒に楽しむことのできる職員になりたいです。  
子どもたちに負けなくらい明るく元気にを目標に  
できたらいいなと思います！ 幼児担当 A・S





## 御弓神事



2月11日淡河八幡神社にて御弓神事がありました。毎年中学2年生が参加しており、3学期が始まってから練習が始まり本番に臨みます。練習に行くのが面倒だとも言っていましたが練習を積み重ねてきたこともあり、堂々とした姿で本番では2本とも的をしっかりと射止めることが出来ました。

学園から中学1年生も来年の為に見学に行き、「あの距離ほんまに届くん」など言いながら先輩たちの姿を食い入るように見ていました。終わりには「いつもより2年生がかっこよく見えたわ」と感想を言っていました。（杉村）



## 沖縄招待

KOBE三宮・ひと街創り協議会の皆さん方にご招待いただき、今回3名の6年生が沖縄旅行に参加しました。飛行機が初めてで、離陸前には緊張した姿が見られましたが、窓から見える景色が雲と海だけとなり、あまりに壮大な景色だったため、飛行機に乗っていることも忘れ、見入っていました。

到着後は名桜大学のボランティアの方と合流し、美ら海水族館や熱帯ドリームセンターに行き、巨大な水槽に泳ぐマンタやジンバイザメ、大迫力のイルカショー、神戸では見たことがない大きな植物を見て、写真を撮ることも忘れてしまうほど大興奮でした。また、昨年火災により正殿等が全焼した首里城にも行きました。焼けて崩れてしまった建物を間近で見て、子どもたちが写真で見ていた首里城とあまりに変わってしまった様子に少しショックを受けているようで、早く復興してほしい、どうやって復興するのだろうと素直な気持ちが聞かれました。摩文仁の丘では神戸出身で沖縄県知事になられた島田毅さんや、戦場で亡くなった一般市民がいることを学び、戦争の恐ろしさを感じていました。

2日間でたくさんのお出逢いと経験をさせていただき、子どもたちにとっても記憶に残るいい思い出となりました。このような素敵な企画を考え、招待して下さった皆様に感謝しております。（清河）



今年のクリスマス会の出し物では幼児・小学生・中学生男子に加え、例年では相互の予定がなかなか合わず実施まで至らなかった高校生男子達が自主的に出し物に取り組んでくれました。歌やダンス、高校生ならではの元気いっぱいのノリで来賓の方を巻き込みながら会場を大いに盛り上げてくれました。また、中学生女子については今年は1人しかいないことから高校生女子と女性職員と一緒に手を組み、中高生女子&女性職員としてTWICEのダンスを完コピーして会場全体を魅了していました。今までとはまた少し違った雰囲気クリスマス会となり楽しい時間となりました。（河村）

## クリスマス会





## ひなまつり会



2月29日にひな祭り会が行われ、爆弾ゲームとカラオケ大会を実施しました。爆弾ゲームは6チームの縦割りになり年齢関係なく真剣にゲームを楽しむ姿が見られました。毎年恒例となっているカラオケ大会では過去最多の10組がエントリーして歌で勝負しました。幼児のかわいかったで賞の他、出場者全員が【1位、2位、3位、特別賞】を貰うために一生懸命頑張っていました。来年もしたいという声もあり楽しめたと思います。(脇田)

3月21日に卒園・卒業を祝う会を行いました。毎年、卒園していく子どもたちの門出を祝う機会として設けています。

今年も卒園生たちが、天王谷学園での思い出や感謝の言葉を立派に伝えている姿がありました。皆は、名残惜しい気持ちを抱きながらも“笑顔で送り出そう”と会を演出していました。

卒園生たちは不安と期待を背負い新たな環境に身を置きますが、今後も変わらず応援を続けていきたいと思います。(松本)



## 卒園・卒業お祝い会

### 幼児・小女作↓



本来なら4月最初の行事として、学園全体でバス旅行に行く予定でしたが、今年は新型コロナウイルスの流行により、フロアごとにできるだけ、三密を避けた場所へのお出かけになりました。

## 幼児・小学生フロア

幼児・小学生は伊丹スカイパークへ行きました。空港に着陸する飛行機を間近で見られて、「手が届きそう!」と大興奮でした。公園にも行き、そこで出会った子ども達と一緒に、大きな遊具を使ってみんなで鬼ごっこをして遊びました。天気も良く、みんな大満足の日でした。(古川)

## フロアレク



## 中高女子フロア

4月3日に中高生の女の子と一緒に神戸ワイナリーに行きました。新型コロナウイルスの影響で出掛けられない為、子ども達はちょっとした生き抜きとして広場でバレーボールやバドミントンをして体を動かし楽しみました。桜の木の下でお弁当を食べ有意義な時間を過ごすことができました。(南)



## 中高男子フロア

新型コロナウイルスによる外出自粛要請中ではありましたが、中高生男子は17キロほどの道のりをサイクリングで出かけました。4つのグループに分けてそれぞれのペースで1時間以上かけて目的地に到着し、河原で少し遊んでからお弁当を食べ、また1時間以上かけて帰ってくるというハードなものでしたが、こども達は疲れた様子も見せず楽しんで帰ってきました。ずっと学園の中で過ごしていたので、良い気分転換になりました。(田川)





## 7千 園内運動会



5月2日にプチ園内運動会を開催しました。

紅白のチームに分かれて競い合い、日頃の運動不足を解消していました。大縄勝負では、それぞれが相談し合い勝つための戦略を考える中で、普段なかなか話す機会のない年齢同士の子供たちが話し合っているのが大変微笑ましかったです。また、一番白熱したのは紅白対抗リレーで一番の盛り上がりを見せました。ものすごい速さで走っている姿や、勢い余って両チームとも転倒してしまう珍プレーも飛び出し、熱気と笑いの中プチ園内運動会は終了しました。結果は、僅差で紅組の勝利にはなりましたが、皆いい笑顔で終えることが出来ました。(山本)

## ～～園内研修～～

研修委員会として実施している園内研修は職員に必要な学びができるように考えています。今年度、最初の研修は「乳児院・児童養護施設 保育実習指導マニュアル」の本をもとに、その本を作成する際に携わった田川さん、実習担当の松本さんに講話をお願いしました。実習生との関わりを学ぶ中で、果たして自分達は日頃、実習生に指導ができるだけの知識や技術を持っているのか、大切なことを忘れていないか、それぞれ振り返り、考える、良い機会になったと思います。実習生は今後、私達の同僚になるかもしれない大切な仲間として意識することを忘れずにいたいです。(庄司)

## お心遣いありがとうございました

みなと銀行、P&Gジャパン(株)、タリーズコーヒージャパン(株)、(株)チュチュアンナ、神戸やまぶき財団、読売新聞社、久兵衛(株)出版ワークス、(株)ユー・エス・ジェイ、日本教育公務員共済会兵庫支部、(株)沖縄タイムス社、串乃屋、(株)良品計画、(株)みの屋 Threesheeps、三宮人街づくり協議会(夢未来号)、(株)たかくら新産業イオンリテール(株)、フィールドエスト(株) COSTCOホールセールジャパン(株)、上淡河婦人会、神果神戸青果(株)、(株)中澤ホールディングス、日本鏡餅組合、岡本(株) ユーハイム、公益社団法人全国環境対策機構、フィフティンアラジスティック、中国酒家、(株)北神戸商事、モロソフ(株) 旬ダスカジャパンプクアウトモック、全国シャンメリー協同組合、イケア・ジャパン(株)IKEA神戸、長尾自動車整備工場(株)神戸スイーツポート、協同食品(株)、早田なおみ、門司一徹、高橋ひろ子、平野謙、堀哲雄、高橋勝成、長田数子、亀谷伸雄 広瀬俊道、大島剛、波来谷勝彌(敬称略、順不同)

苦情受付件数 2019年度

天王谷学園 1件(対応済)

パンダこうとく保育園 0件



パンダこうとく保育園は、淡河の豊かな自然や温かい地域の方に支えて頂き、6年目を迎えることができました。今年度は6名が入園し、進級児と合わせて1歳児6名、2歳児11名、3歳児2名の19名と、職員も2名加わりとても賑やかなスタートとなりましたが、進級式、入園式から程なくして「コロナウイルスによる緊急事態宣言発令」により止む無く「特別保育」へ移行となりました。ほとんどの子どもたちが家庭保育となり保護者の方々には大変ご協力頂いております。

本来ならば子供たちの笑い声が響き渡り、園庭を元気に走りまわる姿が見られるはずが、静かで寂しい状況です。そこで「STAY HOME」している子どもたちに少しでもお家で楽しく過ごしてもらおうと職員が、手遊び歌をうたっている動画や手作りの「エンドレスカード」を送る取り組みをしました。

園庭では4月の初旬に子どもたちと植えた「きぬさや」や「ジャガイモ」「玉ねぎ」の実が少しずつ大きくなってきています。そして3月に退職された佐伯前園長先生に頂いた「みかんの木」にも小さな花のつぼみが付き始めました。そしてこれから夏になると、プール遊びや夏野菜の収穫など、子どもたちにとって楽しいことがたくさん待っています。この自然豊かな環境の中で子どもたちがのびのび、すくすくと成長し園生活を十分楽しめるように、そして保護者の方に安心して保育園を利用いただけるように、職員一同力を合わせて取り組んでいきたいと思っております。今後も色々な方々にお世話になるとは思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。(榎本)

